

平成29年度
河合町教育委員会
事業点検・評価報告書
(平成28年度事業)

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第26条」の規定に基づき、平成28年度河合町教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価の結果を報告します。

平成29年12月

河合町教育委員会

目 次

・教育委員会諸活動	1
・河合町教育基本計画重点施策	2
・河合町学校再編方針の策定	4
・幼児教育の充実	5
・スクールカウンセラー事業	6
・国際理解・英語教育の推進	7
・小学校におけるICT活用	8
・安全対策・学校施設整備	9
・学校給食の充実・食育の推進	10
・町民大学事業	11
・成人式事業	13
・青少年健全育成事業	14
・人権教育推進事業	16
・学校・地域連携事業	17
・社会教育の推進と施設の管理運営	18
・文化財保存事業	19
・図書館事業	20
・子育て支援図書充実事業	22
・文化会館事業	23
・スポーツ振興事業	24
・事業評価報告書についての意見	25

事業名	教育委員会諸活動	目標	教育行政の推進
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会の定例会議開催 ・幼稚園及び学校訪問 ・研修の実施、参加 ・各種行事への参加 ・総合教育会議の開催(年2回) 		
取組内容	<p>①教育委員会の開催 定例委員会10回 (議案審議38件、教育長報告8件、その他報告10件) 河合町教育大綱(河合町教育振興基本計画)の策定を行い平成29年度から平成33年度までの5年間として「基本理念」と「基本方針」によって構成し推進していきます。 また、学校再編の方針を作成し、第二小学校と第三小学校の統廃合についても審議を行いました。</p> <p>②幼稚園及び学校訪問 1学期(6月) 河合第一小学校、河合第二小学校、河合第三小学校 河合第一中学校、河合第二中学校</p> <p>2学期(10月) 河合幼稚園 県教育委員会事務局教職員課管理主事、町教育委員、町教育委員会事務局職員が、各学校・園を訪問し、現状を視察するとともに全学年学級の授業を参観しました。また、各学校長・園長から教育課程に基づく学校・園の経営方針や学校・園の現状を聴取したうえで、懇談し教育委員会から指導助言を行いました。</p> <p>③研修の参加 近畿市町村教育委員会研修大会(京都市) 奈良県教育委員研修(御所市)</p> <p>④各種行事への参加 各校園の入学式、卒業式、運動会、体育大会、町民体育大会、町文化祭、成人式、家庭教育講演会、町民大学開講式・修了式等に出席しました。</p>		
点検・評価	<ul style="list-style-type: none"> ・定例委員会を原則月1回開催し、審議を行うことで、滞りなく教育行政を推進することができました。 ・全教育委員がすべての学校・園を訪問するとともに、学校・園の行事や社会教育事業の式典等に参加することにより、本町の教育現場の現状を把握し、教育の振興に向けた協議・指導・助言をすることができました。 ・引き続き教育行政の充実・発展に向けて、教育現場の課題に対する改善に努め、視察や研修で得た見識を、本町の教育振興に生かしていく必要があります。 ・広報「かわい」に各学校・園の取組を掲載することによって、開かれた学校を推進できました。 		

事業名	河合町教育振興基本計画 重点施策	目標	豊かな心を持ち、みんなのために生き生きする 子どもの育成
事業概要	各校園は、河合町のめざす子ども像「感謝する心を持つ子」「わくわくどきどき楽しく学ぶ子」「一生懸命全力を出し切る子」の達成に向けて、特色ある教育活動を展開しました。家庭や地域と連携し、豊かな心、学力の向上、たくましい体づくりをめざし、故郷河合に誇りと愛着を持つことのできる子どもの育成に努めました。		
取組内容	<p>①重点施策2 豊かな心の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園では、保育所と教育内容について相互理解を深め、指導の在り方について研究を図りました。 ・各校で、キャリア教育・ボランティア活動等の体験活動を積極的に行いました。また、朝読書を通して読書の習慣化、図書館活動の活性化を図りました。 ・不登校児童生徒に対しては、家庭訪問を繰り返したり、学校と家庭及び関係機関、スクールカウンセラー等と連携をとったりしながら、解消と予防に努めました。 <p>②重点施策3 学力向上の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・IT教育の推進を図り、基礎基本の定着を中心に据え、各校で少人数学級、少人数授業、ティームティーチング授業など、きめ細かな指導を行いました。 ・学ぶ楽しさを体得させる授業、考える場面や話し合い活動を多く取り入れた授業を展開することで、学習意欲の向上につなげました。 <p>③重点施策4 たくましい体の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・園では、サーキット遊びを取り入れ、体を動かす機会を多くもち、体力向上に取り組んだ。 ・プランニングシートの作成(中学校)や業間体育等の推進(小学校)に努め、児童生徒の体力向上に努めました。 <p>④重点施策5 安全教育の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・危機管理の視点から、校園では例年学校安全計画を策定し、危機管理マニュアルや安全マップ、地震防災対策マニュアルに沿って、安全教育を進めました。また、防犯・防災訓練、交通安全教室など関係機関と連携しながら取り組みました。 <p>⑤重点施策6 河合町に誇りと愛着を持つ子どもの育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校では「わたしのふるさと河合町」等、河合町の資料を活用しました。 ・砂かけ祭り、ふるさと祭り、町クリーンデーなどへの参加とボランティア活動によって、子どもたちに自己有用感をもたせることができました <p>⑥重点施策7 家庭・地域と連携した開かれた学校づくりの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校評価の実施、オープンスクールの実施、学校評議員制度の活用、学校ホームページ等、積極的に情報を公開するとともに、地域の実態にあった特色ある教育活動を展開しました。 ・保護者や地域の人々が学校運営に参画し、教育活動への協力体制を定着させることができました。 <p>⑦重点施策8 特別支援教育の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コーディネーターを中心に個別の指導計画や支援計画が作成されています。一人一人の教育的ニーズや障がいの種類・状況に応じた創意ある教育課程が編成され、各校・園で工夫された授業や指導が行われています ・町就学指導委員会では適正就学の推進、町特別支援教育部会では特別支援教育の充実のため、各校園の情報交換や協議を行いました。 <p>⑧重点施策10 機能的な学校運営体制と特色ある学校づくりの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各校園長のリーダーシップによる特色ある学校づくりが行われました。自己評価、学校関係者評価の結果を活用して学校改善に努めました。 ・町教委の学校訪問や校長の自己申告評価の面談で指導助言をしました。 ・教員の資質向上のための研修や授業研究等が行われました。 		

- ・社会情勢の変化につれて、保護者の価値観やライフスタイルも変化し、人間関係が希薄になり、子どもたちの学力や生活習慣、人格形成等に様々な課題が生じています。
- ・目標をもって忍耐強く一生懸命努力している子どもたちも多くいますが、情報化が進む中で問題行動を起こす子どもも少なくありません。
- ・各校は特色ある教育活動を展開していますが、なお一層、家庭と地域と学校が連携して「生き抜く力」を育む、充実した教育活動を実施する必要があります。
- ・「河合町教育振興基本計画」の成果指標に対する平成28年度の実績値を次の表に示しました。各学校の努力の成果が現れていますが、中学生の不登校が増えています。家庭や関係機関等と連携して、ねばり強く取り組んでいく必要があります。

[全国学力・学習状況調査より]

点検・評価

成果指標	平成27年度	平成28年度
「学校のきまりを守っている」と肯定的に回答する児童生徒の割合（施策2）	小学校92.5% 中学校94.6%	小学校93.5% 中学校91.0%
不登校児童生徒の出現率	小学校0.36% 中学校2.60%	小学校0.25% 中学校3.30%
進んで学習に参加していると答えた児童生徒の割合（施策3）	国語の授業内容がよく分かったと答えた児童生徒の割合	
	小学校79.2% 中学校84.6%	小学校87.8% 中学校83.2%
	算数の授業内容がよく分かったと答えた児童生徒の割合	
	小学校73.2% 中学校87.9%	小学校84.9% 中学校82.6%
体力テストの結果で、昨年度の全国平均値を超える種目の割合（施策4）	小学5年生男子50% 10種目の内3種目 小学5年生女子70% 10種目の内7種目 中学2年生男子54% 11種目の内5種目 中学2年生女子45% 11種目の内4種目	小学5年生男子20% 10種目の内2種目 小学5年生女子30% 10種目の内3種目 中学2年生男子18% 11種目の内2種目 中学2年生女子55% 11種目の内6種目
「今住んでいる地域の行事に参加している」と回答する児童生徒の割合（施策6）	小学校71.7% 中学校48.3%	小学校65.4% 中学校41.3%

事業名	河合町学校再編方針の策定	目標	教育環境の充実
事業概要	<p>少子化の進展により、児童生徒数が、ピーク時に比べ6割以上減少している状況です。適正な教育環境を維持していくうえで学校の再編は避けては通ることのできない課題となっています。</p> <p>この課題を解消するため、河合町の学校の統廃合に関する方向を取りまとめ、平成29年3月に「河合町学校再編方針」を策定しました。</p>		
取組内容	<p>○学校規模の適正化に関する基本的な考え方</p> <p>義務教育段階の学校は、児童生徒の能力を伸ばしつつ、社会的自立の基礎、国家・社会の形成者としての基本的資質を養うことを目的としています。このため学校では、単に教科等の知識や技能を習得させるだけでなく、児童生徒が集団の中で多様な考えに触れ、認め合い、協力し合い、切磋琢磨することを通じて思考力や表現力、判断力、問題解決能力などを育み、社会性や規範意識を身に付けることが重要になります。そうした教育を十分に行うためには、一定の規模の児童生徒集団が確保されていることが望ましいと考えます。</p> <p>○学校再編に対する河合町の基準</p> <p>【学校規模】</p> <p>国の定める適正規模を基準として、小学校は法令どおりの規模を適正とします。中学校については、一中・二中を統合しても法令規模には達しないことから、河合町独自の適正規模としています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小・中学校とも 1学年において2学級以上 <p>【学校配置】</p> <p>通学距離について、国の基準では小学校が4km以内、中学校が6kmとなっていますが、河合町の場合徒歩による通学を基本として、小学校は3km以内、中学校は4km以内を基準とします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校 おおむね3km以内 1時間以内 ・中学校 おおむね4km以内 1時間以内 <p>河合町学校再編方針</p> <p>http://www.town.kawai.nara.jp/ikkrwebBrowse/material/files/group/26/gakkousaihennhousin.pdf</p>		
点検・評価	<p>平成22年3月に河合町立学校規模適正化検討委員会から「小学校は3校を2校に、中学校は2校を1校にすることが望ましいと考える。」という提言をいただき、その後「河合町学校再編実施計画」を策定し、また町議会において「河合町学校再編検討委員会」を設置し検討いただきました。</p> <p>平成29年度以降は、この方針に基づき学校再編を実行していきます。</p>		

事業名	幼児教育の充実	目標	生きる力の基礎を育成する
事業概要	<p>幼児期における教育は、健全に生き学び成長する基礎づくりです。体力の向上（進んで運動に取り組む力）、豊かな人間性の育成（正しく判断し、行動する力）確かな学力の育成（基礎基本の定着とそれを活用する力）を目標に、幼児の主体的な活動を促進し、一人一人の子どもの確かな育ちを実感できる取組などを推進しました。</p> <p style="text-align: right;">（河合町教育振興基本計画重点施策①）</p>		
取組内容	<p>○27年度に引き続いて「幼稚園教育要領の理念を実現するための、幼稚園における教育課程の編成、実施、評価、改善の一連のカリキュラム・マネジメントの適切な実施について」研究を重ねてきました。昨年度は保育日誌の見直しをし、記録のとり方の研究をすることで保育の改善を考えました。今年度は、前園長・副園長の退職に合わせて、認定こども園開園に向けて保育所と幼稚園の職員の人事交流があり職員体制が大きく変化しました。中でもクラス担任の配置が、5クラス中3クラスまで保育所から異動してきた職員になりました。ベテラン教員ではありますが、やはり保育の進め方、園児への言葉がけなどいろいろな違いがみえました。そこで、もう一度保育を見直す点にたくさん協議することにしました。園内研修やケース会議の中で、「保育を語り合い、考え合い、創り出す。」話し合いをすることで互いの保育観がわかり、自己の保育の見直しや振り返りをすることができたと感じます。このことは保育の質を高めることになり、幼児の園生活が豊かなものになることにつながります。特に幼児の遊びについて協議することで、既成のおもちゃで楽しく遊んでいるから良いと見るのではなく、幼児が遊びを創り出すための環境を整え認め励ますこと、気づきや発見、不思議だなどと思う事など幼児の感動に寄り添うことで、そこにはたくさんの学びがあることを保育者がしっかりと見届け記録に残すことが大切であることを確認しあいました。</p> <p>○夏休みを利用して、職員の保育所体験をする機会を設けました。保育の流れや保育士の姿を見ることは貴重な体験になりました。</p>		
点検・評価	<p>○保育所より異動してきた3名の教員は、環境が変わり不安でいっぱいの中、一年を過ごしてきたと思います。互いに要求ばかりでなく受け止め合いながら、それぞれの立場や思いをわかろうとすることで、良好な職員関係を築けたかと思われま。この3名は、こども園開園の際には存分に力を発揮してくれると信じます。園長・副園長・主任・担任全員がビギナーで始まった28年度でしたが、改めて『幼稚園の先生になりたかった自分』を見つめなおせたように思います。また、戸惑いながらも全員で園を運営している思いをひとつにして頑張ってきました。</p> <p>○日々の保育や幼児の記録を録ることの大切さの再確認をしました。</p> <p>○保育所ではなかなか研修をする機会が少なかったようです。指導案の作成の仕方や人の意見や見解を知ったり、自分も考えを言ったりすることは、自らの力になります。今後も研修体制を整えていきたいと思っています。</p> <p>○職員の体制が変わることは、保護者にも不安があったと思われまますが、大きな理解と協力を寄せていただいたことに感謝して来年度も園とPTA・地域が、子どもたちのために力を合わせていくようにしたいと思います。</p>		

事業名	スクールカウンセラー事業	目標	いじめ、不登校、虐待等の諸問題の解決
事業概要	いじめや不登校、虐待等の問題行動等の対応にあたって解決するための施策として、町費で「スクールカウンセラー」を配置し、学校におけるカウンセリング機能の充実・強化を図りました。		
取組内容	<p>① 学校での教育相談</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第一中学校と第二中学校に専任の臨床心理士を配置し、児童・生徒、保護者、教職員に対し、不登校・発達上の問題等、様々な問題についてカウンセリングを行いました。また、学校・家庭と連携をとりながら助言や支援を行いました。 ・昨年度より県から配置されたカウンセラーは小学校での相談業務を重点的に、保護者や教職員が持っている様々な問題に対し、相談・助言、心理教育等の研修も行いました。 <p>〔主な内容〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童・生徒へのカウンセリング ・カウンセリング等に関する教職員及び保護者に対する助言・援助 ・カウンセリング等に関する情報の収集や提供 <p>〔相談件数〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・276件（児童生徒94・保護者82・教員98・他2） ・54件（保護者22・教員32）一県配置一 <p>〔相談内容〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・不登校に関する相談、生活全般に関する相談で5割を占めています。 ・教員・保護者からの相談も内容はさまざまですが多いです。 <p>② 教育総務課での教育相談</p> <p>教育総務課において、随時電話も含め教育相談の窓口を設け、保護者や地域の人々からの相談に対応しました。各校・園と連携をとりながら、アドバイスやカウンセリングを行いました。</p> <p>〔主な相談内容〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いじめ問題に関する内容 ・特別支援教育に関する内容 ・学校生活上の問題 等 <p>③ 河合町いじめ防止基本方針の作成(平成28年5月)</p>		
点検・評価	<ul style="list-style-type: none"> ・学校における教育相談においては、保護者からの多種多様な相談に対し、心理面でカウンセリングが行われました。悩みを抱え込まないように広い視野で、また異なった角度から考えられるようにアドバイスをし、心の安定につながるという大きな成果が得られました。 ・教職員は、抱えている生徒指導の問題や保護者対応において、適切なアドバイスをもらい、心のゆとりと解決へのサポートが得られました。 ・学校に配置することで、心の問題の早期解決やトラブルの未然防止につながり、児童生徒が落ち着いて学校生活に向かうことができました。 ・県配置のカウンセラーを小学校中心に活用することで、相談窓口が増え、適切な時期にカウンセリングを受けることができるようになりました。低年齢化する児童生徒の問題行動等の未然防止や早期対応に役立てることができました。 		

事業名	国際理解、英語教育の推進	目標	コミュニケーション能力の基礎を養う
事業概要	<p>国際社会において、英語の必要性が益々求められています。</p> <p>ネイティブスピーカーである外国人講師をALT(外国語指導助手)として配置し、英語によるコミュニケーション能力の養成を行うとともに、国際理解教育を推進しました。</p>		
取組内容	<p>①各中学校に週2日間ずつALTを配置しました。</p> <p>年間計画に基づいた英語教育の充実に向けて、英語の教員と協力して授業を行いました。特に、生徒たちの国際感覚を養い、英語によるコミュニケーション能力の向上に努めました。</p> <p>授業だけでなく、北葛城郡や県における英語スピーチコンテストに出場する生徒たちの個別指導も行いました。</p> <p>②各小学校には月に1～2日、幼稚園には月に1日程度ALTを配置しました。</p> <p>小学校においては、5・6年生の外国語活動における支援を行い、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成し、英語によるコミュニケーション能力の養成を行いました。</p> <p>その他の学年においても、総合的な学習の時間を活用して、異文化とのふれあい、外国や日本の生活・文化・伝統について学習し、国際理解教育を進めました。</p> <p>幼稚園においては、遊びを通して英語に慣れ親しみ、ALTと気軽にふれあうことで英語への興味・関心をもたせる保育を行いました。</p>		
点検・評価	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校、中学校、幼稚園ともに、ホンモノの英語にふれる機会が増えることで英語学習に対する意欲が増えました。また、外国文化に対する興味関心も高まっています。 ・英語のコミュニケーション能力を養成する為には、好奇心旺盛で感受性に優れ、言語活動が発達する幼児期や児童期が大切です。積極的にALTを活用し、英語による体験活動を多く取り入れる事を重視しています。 ・北葛城郡における中学校英語スピーチコンテストでは、優秀な成績をおさめる等の成果をあげることができました。ALTとの授業においては、生徒が生き生きと活動し、積極的にALTと会話するなど英語力が高まっています。 		

事業名	小学校におけるICT（タブレット）活用事業	目標	自ら考え、主体的に判断・表現・行動するなど、児童生徒が主体的に学ぶための環境整備
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・タブレットPCを使用し、円滑で効果的な授業を行うため、インターネット環境の整備を行いました。 		
取組内容	<p>タブレットPCを使用することにより、児童は授業に対し興味を持つわけであるが、単にそれだけに留まらず、グローバル社会では自分の考えを他人に伝える力が必要とです。それを実現するための学習として、自分で考え、調べ、体験し、それを発表する。そして教室内でグループディスカッションやディベートなどを行う「アクティブラーニング」を実践するツールとしてのICT機器の活用ができる環境を整備するものです。</p> <p>本年度は、ICT機器を円滑に活用するため、役場（教育委員会）と全ての学校とを光ファイバーで接続し、他のネットワークとは独立した構成のもので構築を行いました。</p> <p>プロバイダから役場（教育委員会）への通信速度は1Gbps、各学校へは100Mbpsの回線で結んでいます。また、ウイルス対策用の機器を設置し、生徒用と校務用を分離するスイッチの設置、他メディアコンバータ、ルータ等設置を行いました。</p>		
点検・評価	<p>インターネット環境が整備されたことによって、ICT機器をより幅広く使用することができ、バリエーションに富んだ授業を展開することが可能になりました。</p> <p>平成29年度には、残る2校の小学校にタブレット機器の整備を予定しています。</p>		

事業名	安全対策、学校施設整備	目標	安心安全な学校づくりの推進
事業概要	<p>①安全で安心な学校、登下校であることは、全保護者・教職員の願いです。 安全な通学路を確保するため、通学路の点検を行い、関係機関へ改善の要望を行いました。</p> <p>②小学校、中学校の施設整備工事を実施しました。</p>		
取組内容	<p>①通学路の点検 各学校からの要望箇所（4ヶ所）を基に、通学路の点検を行いました。その結果、全ての箇所について関係各位の西和警察、道路管理者及び安心安全推進課に対して改善を要望しました。 《要望内容》 車の通り抜けが多く車速が高い、交差点を通過する車の車速が高く事故が多いなど交通安全に関する要望がほとんどである。 《対策》 啓発看板の設置、交差点内カラー舗装、信号機設置等</p> <p>②学校施設整備工事 《工事》 ・河合町立小学校施設防災ネットワーク整備工事 3校 ・河合町立中学校施設防災ネットワーク整備工事 2校 ・河合第二中学校雨漏れ工事</p>		
点検・評価	<p>①通学路の改善状況 平成27年度要望した、星和台地区のゾーン30を、平成28年度に施行し成果が出ています。</p> <p>②施設整備状況 河合町立学校5校の学校ネットワークの整備工事を行いました。 また老朽化による第二中学校の雨漏れ工事を行った</p>		

事業名	学校給食の充実、食育の推進	目標	豊かな心と望ましい食習慣等を育む
事業概要	<p>栄養バランスがとれた安全な給食、また会話がはずむ給食時間にするための魅力ある給食を提供し、食育の推進を図りました。</p> <p>給食室においては、調理機器等施設設備の保守点検や衛生管理について徹底し、児童生徒にとって魅力的でおいしく、安全で安心な学校給食の提供に努めました。</p> <p>(河合町教育振興基本計画重点施策⑨)</p>		
取組内容	<p>①安全安心な学校給食 毎月一回献立会議を開催するとともに、学期ごとに各校の給食担当者を含めた献立研究会を開催しました。児童生徒の嗜好や食事状況、残菜量、安全安心な食事等について話し合い、改善に向けた献立を検討しました。</p> <p>また、給食時の異物混入に関する対応マニュアルに沿って、衛生管理や異物混入に十分注意を払いました。</p> <p>②魅力的な学校給食 児童生徒にとって魅力的でおいしく、安全で安心な学校給食を提供するため、食材や献立の内容を工夫しました。地産食材や旬の食材を活用し、郷土食や行事食を提供することで、地域への愛着や理解が深まるよう取り組みました。</p> <p>また、会話がはずむ給食時間にするため、人気メニュー、全国の各郷土料理、活躍している卒業生が好きだったメニュー、外国の料理も給食に取り入れるなどの工夫をしました。</p> <p>小学校給食回数：178回 中学校給食回数：165回</p> <p>③家庭との連携 毎月発行する給食便りや献立表を通して、栄養やマナー、衛生管理など食に関する情報を発信しました。また、保護者対象の試食会や河合町給食委員会を開催し、安全安心な学校給食への理解と食育推進について栄養教諭が具体的に説明をしました。</p> <p>④食物アレルギー対応 特定の食物にアレルギー反応を起こす児童生徒に対しては、除去食や代替食で対応しました。また、学校と保護者の連携を図り、給食で使用する食材や調味料等の詳細が記載された献立表や加工食品の材料配合表を、該当する児童生徒の保護者全員に配布しました。</p> <p>⑤研修 奈良県・北葛城郡・河合町が開催する研修会や講習会に栄養教諭や調理員が参加し、研修内容を活かした給食づくりを行いました。調理に関しては、細心の注意を払って行いました。</p> <p>⑥地産地消の促進 まほろば夢市と連携し、学校給食の食材の納入時期や農家の収穫時期を把握して、献立を作成するように調整しました。少しですが地場産物の活用率が向上しました。</p>		
点検・評価	<ul style="list-style-type: none"> 給食の時間における食に関する指導は、残菜が減ったこと、食べ物や地域の風習・習慣について知識が増えたことなど、食育の推進を図ることができました。 栄養バランスのとれた豊かな食事を児童生徒に提供できました。食材の安全、地産食材、季節の食材を活用した郷土食や行事食など、様々に工夫された魅力ある学校給食になりました。食に関する子どもたちの興味関心が 高まり、食育推進に大きな成果が得られました。 		

事業名	町民大学事業	目標	住民のニーズに対応した学習活動を支援する。
事業概要	<p>住民一人ひとりが、自分にあった学習を選び、年齢に関係なく楽しく学びながら、いきいきとした毎を送るきっかけをつかむ。また、多くの人々との対話と協調を通して、心豊かな人間性を培うことを目的としました。</p> <p>町民大学 28年度 延べ受講生318人</p> <p>1. 生涯学習部（3セミナー・2教室） 生涯学習セミナー・遺跡学セミナー・歴史セミナー かわい寺子屋教室・親と子の体験教室（2教室は、青少年健全育成事業としても該当する。）</p> <p>2. 文化・芸術学部（18講座・2教室） 初めての古文書、リンパマッサージ、若返る美容・健康ダイエット、パッチワーク、古文書（経験者）、育てて楽しむ園芸、身近な法手続き、親と子のリズムあそび、身近な野鳥観察、かな習字、サロンマジック、ネイルアート、実用篆刻、ハワイアンフラ、母と子のベビーヨガ&マッサージ、大正琴、古典、子ども絵画、パソコン（ワード）、パソコン（エクセル）</p> <p>3. 健康スポーツ学部（2教室） わくわくスポーツ教室 ヘルスアップ教室</p>		
取組内容	<p>5月開講式 記念講演 「心身リラックスと生涯学習」 講師 リラクゼーションボディーワーカー 栗岡 多恵子 氏</p> <p>3月修了式 「知れば知るほど味わい深い河合町」と題して、本町政策調整課職員から河合町の魅力を紹介</p> <p>生涯学習部 <生涯学習セミナー 年7回開催 受講者 5人> 「健康」をテーマに、講義、館外学習、実技体験を行い、健康についての知識向上を図りました。 <遺跡学セミナー 年8回開催 受講者 7人> 町の遺跡を歩いて巡り、残されている文化遺産・郷土の歴史を学習し、後の町のボランティアガイド育成を図りました。 <歴史セミナー 年7回開催 受講者 24人> 葛下川流域の歴史（香芝市の歴史と文化）を現地学習を交えながら行い、町内周辺の歴史にふれ文化財保護の意識を高めました。</p> <p>文化芸術学部 <18講座・2教室開催 年7回～14回開催 受講者 149人> 健康・美容に関する学習の場を拡大しました。 新講座開催（リンパマッサージ、若返る美容・健康ダイエット） 住民、受講生から要望があった内容の講座を開催しました。 新講座開催（初めての古文書、パッチワーク）</p>		

	<p>健康・スポーツ学部 くわくわくスポーツ教室 年9回開催 受講者 21人 > 簡単に楽しめるスポーツを開催しました。 ラージ卓球・スリーボール・グランドゴルフ・シャフルボード <ヘルスアップ教室 年16回開催 受講者 56人> 正しい歩き方、軽スポーツなど実施しました。</p> <p>■ 28年度町民大学受講生 318人 (かわい寺子屋教室・親と子の体験教室含)</p>
<p>点検・評価</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・健康学習を生涯学習の重要な柱のひとつとし、健康についての正しい知識を知り適切に対応できるよう、健康に関わる講座を充実させました。 ・人々が、地域社会で生き抜いていくことを支援し、学習を通して、人・もの・歴史・文化・スポーツが発展することに役立つような学習の場を提供できるように努めます。 ・子どもを持つ親（保護者）と子が一緒に楽しんで親子の絆を深める、育児や保育などに関する学習の提供に取り組みます。 ・河合町内外の歴史を学ぶことにより、文化財保護の意識を高めました。 ・住民や受講生のニーズに対応し、講座の充実に努めました。 ・軽スポーツを通じて、健康・体力の維持、向上に努めました。 ・知識・教養の向上・技術の習得などの学習だけではなく、自らが学習成果をいかし他者と協力しあって地域のリーダーとして積極的に社会的活動ができるような学習の場の整備を図っていく必要があります。

事業名	成人式開催事業	目標	新成人による式典の企画及び進行を実施する。
事業概要	<p>成人になったことを自覚し、これからの社会を担っていく社会人として自ら強く生き抜こうとする青年を祝うことを目的に成人式を開催しました。</p>		
取組内容	<p>開催日 平成29年1月8日(日) 場所 河合町文化会館まほろばホール 対象者 平成8年4月2日～平成9年4月1日生まれの新成人 新成人 対象者数 180名(男性85名・女性95名) 出席者数 152名(男性70名・女性82名) 出席率 82.4%</p> <p>式典(第一部) 国歌・町歌斉唱 町長・教育委員長式辞 町議会議長祝辞 来賓・主催者紹介 祝電披露 謝辞</p> <p>(第二部) 記念撮影</p> <p>(第三部) 第一・第二中学校の吹奏楽部による記念演奏 小・中学校時代の写真スライドショー及び恩師ビデオレター 新成人の声 記念イベント</p>		
点検・評価	<ul style="list-style-type: none"> ・選出された新成人を運営委員とし、実行委員会を数回開催し、委員から創意工夫した企画を立案がされ、参加者が喜んでもらえる成人式を開催することができました。 ・新成人が、主役の自らの成人式、思い出に残る成人式を開催することができました。 ・成人者が、主役となる成人式の開催に努めます。 		

事業名	青少年健全育成事業	目標	子どもの豊かな人間性を育む「心の教育」を推進する。												
事業概要	<p>1 心の教育の推進</p> <p>① 河合町未来絵画コンクール</p> <p>② 町内各小・中学校で登校時における挨拶運動</p> <p>③ 奈良県・広陵町との合同巡回啓発指導</p> <p>2 体験学習の推進</p> <p>① かわい寺子屋教室</p> <p>② 親と子の体験教室</p> <p>3 子どもたちの安全見守りの実施</p> <p>① 「子ども110番の家」の旗の配布</p> <p>② 夏休み夜間巡回</p>														
取組内容	<p>1 心の教育の推進</p> <p>① 河合町の未来絵画コンクールを開催しました。</p> <p>展示期間 10月25日(火)～11月13日(日)</p> <p>場 所 中央公民館</p> <p>表彰式 10月19日(水)</p> <p>応募点数 幼児の部54点 小学生の部18点</p> <p style="text-align: right;">合計72点</p> <p>② 町内各小・中学校において挨拶(おはよう)運動を実施しました。</p> <p>9月1日(木)、2日(金)、5日(月)～7日(水)</p> <p>午前7時30～8時30分</p> <p>③ 奈良県・広陵町と、奈良県青少年指導員(町内の3名)及び町職員による合同巡回啓発指導を実施しました。</p> <p>11月15日(火)に実施</p> <p>(コンビニエンスストアで有害図書・ビデオ等の点検指導)</p> <p>2 体験学習の推進</p> <p>① かわい寺子屋教室(6回開催)</p> <p>環境の変化により、異年齢とのふれあいの機会が少ない子どもたちに様々な体験の場として、かつての寺子屋の心を復活させ、主体的に判断し、行動できる「生きる力」を育むことを目的としました。</p> <p>対象者 町内在住小学4年生～中学3年生</p> <p>参加人数 40人</p> <p>学習内容</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;">自然体験事前学習</td> <td>すさみ町や海の生き物について</td> </tr> <tr> <td>自然体験学習</td> <td>和歌山県すさみ町(1泊2日)</td> </tr> <tr> <td>世代間交流</td> <td>グラウンドゴルフ体験</td> </tr> <tr> <td>実技体験</td> <td>サロンマジック</td> </tr> <tr> <td>実技体験</td> <td>ミニ門松作り</td> </tr> <tr> <td>伝統文化にふれる</td> <td>砂かけ祭りに参加</td> </tr> </table>			自然体験事前学習	すさみ町や海の生き物について	自然体験学習	和歌山県すさみ町(1泊2日)	世代間交流	グラウンドゴルフ体験	実技体験	サロンマジック	実技体験	ミニ門松作り	伝統文化にふれる	砂かけ祭りに参加
自然体験事前学習	すさみ町や海の生き物について														
自然体験学習	和歌山県すさみ町(1泊2日)														
世代間交流	グラウンドゴルフ体験														
実技体験	サロンマジック														
実技体験	ミニ門松作り														
伝統文化にふれる	砂かけ祭りに参加														

事業名	人権教育推進事業	目標	人権尊重のまちづくりの推進
事業概要	<p>差別の現実には深く学び、部落差別をはじめ、あらゆる人権問題の解決をめざして、くらしをみつめ、豊かな未来を切り拓く取り組みを町人権教育研究会と町人権教育推進協議会が中心となって推進しました。</p> <p>参加体験型（現地学習）を行い、あらゆる人権をめぐる現状と課題を認識しました。</p>		
取組内容	<p>① 人権学習会開催（現地学習：フィールドワーク） 生駒市内の人権ゆかりのある地を訪れ、自分の目で見て肌で感じる学習を実施し、人権教育推進の輪を広げ、人権尊重を基盤とした地域社会となるような取り組みを進めました。</p> <p>実施日 10月11日（火）・24日（月）・11月1日（火） 場所 生駒市 生駒谷（行基・忍性の足跡） 参加人数 36人 参加者 各自治会役員・人推協加盟機関・団体（各種団体） 一般応募住民</p> <p>② 識字学級開催 日常生活での読み書きができるように、講師の指導のもと自分の課題達成に向けて学習をし、生活の向上に繋がるように実施しました。</p> <p>実施日 平成28年4月～29年3月（毎週水曜日） 場所 心の交流センター 参加人数 1人 開催回数 36回</p> <p>③ 人権教育研究会開催 町内の保育所・幼稚園・小中学校の保育士及び教職員とが交流を図りながら、差別の現実には深く学び部落問題をはじめとする、さまざまな人権問題の解決につながる教育を創造しようを目標とし、研究会が開催され教育活動に努めました。</p> <p>実施日 平成28年4月～29年3月 内容 運営委員会・講座別研修会・授業実践交流会等 開催回数 20回</p>		
点検・評価	<ul style="list-style-type: none"> ・現地人権学習会は、現地に赴くことで、参加された方々の認識や意識の向上を図り、また、人権問題解決に向けての先達の取り組みと歴史を学ぶことができました。この取り組みによって、地域における人権尊重の輪の広がりが期待できます。 ・識字学級は、学習された方の読み書きの向上が図れました。 ・あらゆる人権をめぐる現状と課題を正しく認識し、取り組む必要があります。 ・人と人とが、豊かに繋がる地域づくりをめざして、取り組む必要があります。 		

事業名	学校・地域連携事業	目標	学校・家庭・地域の連携による地域の教育力の向上を図る。
事業概要	規範意識・社会性の向上を目的として、「地域と共にある学校づくり」を推進し、保護者・地域の人々が教育活動に参画し、学校と保護者、地域が協働して子どもたちを育てるとともに、学校をベースとした地域コミュニティを再構築し、地域の教育力の向上を図りました。		
取組内容	<p>①学校支援活動（第二・第三小学校の児童及び第二中学校の生徒） 地域住民（無償ボランティア）の協力を得て、教育現場のサポート体制を構築し、「学校教育」・「家庭教育」に並ぶ「地域教育」の推進を図りました。地域住民が、積極的に参画することにより、「地域の教育力」の向上に努めました。また、教育活動以外の支援を行うことで、教員の勤務負担を軽減し、教員が子どもたちと向き合える時間を確保しました。</p> <p><活動内容> 登下校の見守り・花壇や農園の整備と管理・軽スポーツの指導 昔遊びの指導・ 図書の整理・施設設備の修繕・学校行事の補助 対象者 第二・第三小学校、第二中学校、地域住民 場 所 各校及び校区 実施日 平成28年4月～平成29年3月</p> <p>②放課後子ども教室 放課後、子どもの安全で健やかな活動場所の確保を図り地域の大人が子どもとともに勉強や軽スポーツ・体験活動・地域住民との交流等の取り組みを実施しました。</p> <p>対象者 第一小学校児童 参加者 19人 場 所 第一小学校・児童館 実施回数 19回 実施日 平日の放課後及び土曜日・冬期休暇中（2時間）</p> <p>③通学合宿 2泊3日の通学合宿（中央公民館より集団で登校・下校）を実施し、ボランティアの方の協力を得て生活力・規範意識の向上を図りながら、異学年間の絆も深めました。</p> <p>対象者 第一小学校4年生 ～ 6年生の児童 61名 （4年生10名 5年生28名 6年生23名） ボランティア 29名 場 所 中央公民館及び豆山の郷（入浴） 実施日 10月12日（水） ～ 10月14日（金）</p> <p>④登下校見守りボランティア 各小学校で登下校時の子どもたちの安全を確保するため、地域ぐるみによる支援活動を行いました。</p>		
点検・評価	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の教育力を活用し、町全体が教育に携わることで子どもをとりまく環境をより良いものにしていきます。従来の学校教育が主体の教育だけでは、年々教職員の負担も増えており、なかなか手の届きにくい教育環境の細やかな点に地域住民が参画することで、子ども・教職員・地域住民それぞれにとって意義のある取組になりました。 ・地域の方々から、教科を超えたさまざまな「学びと喜び」を指導していただき、学習意欲を向上させ、コミュニケーション力を高め、豊かな社会の実現に向けた子どもの育成と成長にたいへん効果がありました。 		

事業名	社会教育の振興と施設管理運営	目標	地域社会を支えるまちづくりと発展するような学習支援をする。																								
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・社会教育の振興のため社会教育団体への助成・支援を行いました。 ・社会教育委員が、社会教育活動等に助言または、地域の課題を反映させた社会教育に関する色々な計画を立案しました。 ・各公民館の老朽化による不整備な箇所の簡易な修繕をし、環境整備しました。 																										
取組内容	<p>① 社会教育の振興 社会教育関係団体への助成・支援を実施しました。</p> <p><河合町PTA連合会> 町内の教育振興及び幼児・児童・生徒の健全な育成と幼・小・中学校PTA相互の連携と親睦を図りました。</p> <p><河合町婦人会> 会員相互の交流を図りながら、各種研修会にも参加し教養を高め、会員が自発的に活動し、地域発展の意識増進を図りました。</p> <p><河合町子ども会連合会> 会員相互の交流、親睦及び連絡調整を図り、各子ども会の健全な育成と発展に寄与しました。</p> <p><河合町郷土を学ぶ会> 郷土の文化財・歴史・史跡を学び、その学習した人たちが馬見丘陵公園を中心に町内の史跡案内（ボランティア）や保存への協力をしました。</p> <p>② 社会教育施設の管理運営 利用者が、効率よく各施設を利用し、クラブ活動等やまた、学校関係の講演会や研修会など広く利用されました。</p> <p style="text-align: right;">(単位：人)</p> <table border="1" data-bbox="379 1182 1394 1429"> <thead> <tr> <th rowspan="2">公民館名</th> <th colspan="3">利用者数</th> </tr> <tr> <th>26年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>中央公民館</td> <td>23,928</td> <td>20,971</td> <td>22,795</td> </tr> <tr> <td>西大和地区公民館</td> <td>12,161</td> <td>9,949</td> <td>9,665</td> </tr> <tr> <td>南部地区公民館</td> <td>410</td> <td>175</td> <td>136</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>36,499</td> <td>31,095</td> <td>32,596</td> </tr> </tbody> </table>				公民館名	利用者数			26年度	27年度	28年度	中央公民館	23,928	20,971	22,795	西大和地区公民館	12,161	9,949	9,665	南部地区公民館	410	175	136	合計	36,499	31,095	32,596
公民館名	利用者数																										
	26年度	27年度	28年度																								
中央公民館	23,928	20,971	22,795																								
西大和地区公民館	12,161	9,949	9,665																								
南部地区公民館	410	175	136																								
合計	36,499	31,095	32,596																								
点検・評価	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な人々が相互交流を図り、共に助け合って生きる社会教育をめざしました。 ・既存施設を効果的、効率的に活用し、あらゆる人々が快適に活用できる施設をめざし、老朽化している各施設・設備を中長期的な視野で計画的に整備・改修します。 ・町民に幅広い情報提供ができるように努めます。 ・高齢化により公民館利用者の80%以上が65歳以上を占め、施設の利用者が減少していることを踏まえ、社会の変化に対応した学習機会を提供することで、子育て世代・若年層の利用者の増加を図ります。 																										

事業名	文化財保存事業	目標	文化財の適切な保存と魅力ある活用
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 河合町内に所在する文化財の保存を図るために、史跡指定地の公有化、遺跡の範囲確認調査、草刈り等の維持管理に努めました。 普及啓発に関わる事業として、文化財展示室の公開、祭事実行の支援、県内外への情報発信を行いました。 		
取組内容	<p>①史跡大塚山古墳群買上事業（平成28年5月～平成29年3月） 『史跡大塚山古墳群保存管理計画』に基づき、史跡大塚山古墳群の保存活用のため、大塚山古墳の西側周濠の一部の買収を行いました。</p> <p>②町内遺跡緊急発掘調査事業（平成28年3月） 実施場所：九僧塚古墳（穴闇） 墳丘下段部の1か所及び南側隣接地、西側隣接地各1か所の計3か所に調査区を設定し発掘調査を行いました。西側隣接地の調査区では本来の墳丘裾を確認し、墳丘が西側に広がることが確認できました。これにより現状では南北に長い長方形を呈する墳丘も、本来は正方形に復元できると考えられます。また、平成27年度調査と同様、サヌカイト剥片や縄文土器が出土しました。</p> <p>③文化財維持管理事業（平成28年4月～平成29年3月） ・史跡ナガレ山古墳の維持管理として、馬見丘陵公園と一体的な維持管理を行うため、日常的な清掃・抜根・維持管理を奈良県に委託し、除草・植栽管理は河合町シルバー人材センターに業務委託しました。 ・河合町指定無形民俗文化財「廣瀬神社の砂かけ祭り（御田植祭）」の保存継承のための祭事実行支援及び県内外への魅力発信を行い、文化財保護啓発と町の観光力の向上、活性化を図りました</p> <p>④河合町の文化財展17（中央公民館旧館3階、2日間実施） 文化祭に合わせて、「九僧塚古墳の発掘調査成果2」及び「新規収蔵民俗資料の公開」と題し、文化財展示室の公開を行いました。</p> <p>⑤日本書紀を語る講演会（平成29年1月） 「記紀・万葉プロジェクト」の一環として、奈良県と共催で『日本書紀』をテーマとした講演会を行いました。関連事業として河合町観光ボランティアガイドの会により実施されたエクスカーションに対する支援を行いました。</p>		
点検・評価	<ul style="list-style-type: none"> 文化財の保存、維持管理に重点を置いた事業を実施しました。活用面でも様々な機会を捉えての情報発信が功を奏し、大塚山古墳群や文化財展示室など、前年度より来訪者が増加しました。今後とも必要な環境整備を継続して行わなければなりません。 「廣瀬神社の砂かけ祭り」に対する支援は効果的に行われ、年々観覧者が増加していますが、平成28年度は天候の影響で前年を下回りました。また、未来を担う子どもたちに文化財保護意識の醸成を図るため寺子屋教室と連携し、砂かけ祭りへの参加を促しました。 「河合町の文化財展」及び「日本書紀を語る講演会」の開催により河合町の文化財の魅力を町内外に発信できました。 河合町の活性化のためにも、町の重要な資源である文化財の適切な保存への努力と魅力を伝える情報発信の継続が今後さらに必要です。 		

事業名	図書館事業	目標	豊かな心を育む図書館づくりの推進				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・住民が求める資料を提供し、各分野の図書を取り揃え住民の本棚としての役割を果たすことを目的に運営しました。 ・生涯学習の拠点として、大人から子供まで気軽に参加できる、魅力ある内容の催しを各種開催しました。 						
取組内容	【平成28年度】						
		蔵書冊数	登録者数	貸出人数	貸出冊数	AVコーナー	研修室
		49,192冊	271名	21,309名	61,715冊	313名	2,099名
	一般	30,471冊	168名	17,698名	47,830冊		
	児童	18,721冊	103名	3,611名	13,885冊		
	○購入数：一般書446冊、児童書251冊、計737冊						
	○寄贈数：一般書736冊、児童書173冊、計909冊						
	年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
	入館者数	22,901人	23,789人	24,415人	23,318人	24,588人	24,265人
	貸出冊数	62,796冊	64,489冊	62,461冊	60,430冊	64,236冊	61,715冊
【主催事業】							
<p>① 人形劇のつどい [H29.3.11 118名参加 前年度より8名減] 子どもたちが図書館への親近感と読書への興味をもつように努めました。</p> <p>② おはなし会 [毎週土曜日(年35回実施)、夏・冬・春、延べ329名参加前年度より26名減] 平成29年1月より第1・3土曜日に変更 子どもが昔話やお話を聞いて、楽しく本の世界へ入ることができるように努めました。</p> <p>③ 【新規】産直市(親と子のおはなし会) [H28.5.14 63名参加] 文化祭(おはなし会、人形劇) [H28.11.5・11.6 147名参加 前年度より5名増] 図書館利用の啓発促進に努めました。(その他、寄贈本祭の開催)</p> <p>④ 雑誌リサイクル [3日間実施、有効利用の提供数39種類475冊・寄贈本188冊/提供率雑誌68.2%・寄贈本81.9% 平均75% 前年度より3%減] 保存年限が過ぎた資料の再活用を目的として、雑誌・寄贈図書を利用者に無料提供しました。</p> <p>⑤ 百人一首&かるた大会 [H29.1.7 45名参加 前年度より26名増] 日本の伝統文化であるかるた遊び・百人一首を楽しみ、子どもの輪を広げるとともに親子が触れ親しむ機会を増やし、読書への動機づけを行いました。</p> <p>⑥ 絵本との出会い事業 [年6回実施、赤ちゃんと保護者延べ89名参加 前年度と増減なし] 〈親と子がふれあう初めての絵本〉赤ちゃん(4ヶ月検診時)とのふれあいの大切さや言葉かけの大切さを伝え、絵本の読み聞かせや絵本の紹介を行いました。</p> <p>⑦ 子どもの絵本とおはなしの講座 [H28.9.4・12.24・29.2.4 76名参加前年度は1回開催 28年度は3回開催のため50名増] 絵本の読み聞かせやお話を通して、読書への導きと子どもたちが心豊かに生きる手助けになるように努めました。 内容 ・絵本と子どもへの接し方についての講演会 ・親子工作教室 ・絵本と歌の広場</p>							

点検・評価	<ul style="list-style-type: none">・子どもから高齢者まで幅広い年齢層の人たちが利用できるように、絵本等の児童書や一般書の新刊図書を購入するとともに、寄贈本を有効活用して新鮮な蔵書構成を図りました。今後も、多くの方に利用してもらえる図書館を目指していきます。・図書館職員だけでなく河合町おはなし会や人形劇団「あおむし」の方の協力で、様々な事業を開催できました。図書館利用の啓発促進や読書への導き、心豊かに生きる手助けになる図書館を目指した取組になりました。・利用人数、貸出冊数ともに減少のため、保育所・幼稚園及び各施設との連携を強化していきます。
-------	---

事業名	子育て支援図書充実事業	目標	児童サービスの一環として、子育て環境の充実
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 地方創生街再生総合戦略事業として、幼児とその保護者等を対象にした事業の開催及び関連絵本の購入をしました。 		
取組内容	<p>【主催事業】</p> <p>① パステル画絵本講座 [H28.6.26 31名参加] 親子で手を使ってパステル絵本を作成しました。 (関連絵本40冊を購入しました。)</p>		
点検・評価	<ul style="list-style-type: none"> 平成28年度の事業は、1回のみで開催となりましたが、今後、豆山の郷や保健センター等と連携し、継続して事業を展開していきます。 図書館内では、展示コーナーを設け、新刊書や課題図書その他、テーマ(季節)別の絵本を取り揃え利用しやすいように試みました。 寄贈本(児童書)の一部を豆山の郷、保健センター等に提供しました。今後も寄贈本の有効利用を推進していきます。 		

事業名	文化会館事業	目標	美しい音響で豊かな心を育む文化会館の運営																																																																														
事業概要	<p>若々しい想像力にあふれた町づくりを進めるため、地域社会の活力と文化を生み出す場として、平成3年にオープンしました。</p> <p>大ホールはピアノ発表会や音楽会、講演会等。小ホールは社交ダンスやバレエ、健康体操。研修室は会合や打合せに、それぞれ使用されました。</p> <p>質の高い芸術鑑賞の機会を提供することで、子どもたちの社会性や生きる力を育み、各年代の方々には豊かな心をもっていただけるように努めました。</p>																																																																																
取組内容	<p>【開催事業数(大・小ホール含む)】</p> <table border="1" data-bbox="392 577 1342 663"> <tr> <td>年度</td> <td>H23年度</td> <td>H24年度</td> <td>H25年度</td> <td>H26年度</td> <td>H27年度</td> <td>H28年度</td> </tr> <tr> <td>事業数</td> <td>5本</td> <td>5本</td> <td>5本</td> <td>5本</td> <td>5本</td> <td>5本</td> </tr> </table> <p>【入館者数(大・小ホール含む)】</p> <table border="1" data-bbox="392 741 1342 826"> <tr> <td>年度</td> <td>H23年度</td> <td>H24年度</td> <td>H25年度</td> <td>H26年度</td> <td>H27年度</td> <td>H28年度</td> </tr> <tr> <td>事業数</td> <td>29,051</td> <td>29,546</td> <td>27,545</td> <td>28,480</td> <td>28,885</td> <td>25,108</td> </tr> </table> <p style="text-align: right;">(人)</p> <p>①ミュージックフェスティバル(大ホール) 県内在住在勤者約450名が、邦楽、クラシック、合唱、フォーク&ジャズの4部門に分かれて出演する参加型コンサート 実施日：平成29年2月5日、平成29年2月12日、平成29年2月19日</p> <p>②サロンコンサート(大ホール) 平成28年6月12日(日) 奈良県出身で東京二期会所属のバリトン歌手による声楽コンサート 「榎貴志バリトンコンサート」～抒情歌とオペラアリアの午後～ 榎貴志(バリトン)、北野友梨(ピアノ)</p> <p>【平成28年度ホール等利用状況】</p> <table border="1" data-bbox="392 1249 1342 1536"> <thead> <tr> <th rowspan="2">ホール名</th> <th rowspan="2">使用日数</th> <th colspan="2">利用人数</th> <th colspan="3">稼働率</th> </tr> <tr> <th>貸館</th> <th>自主事業</th> <th>28年度</th> <th>27年度</th> <th>26年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大ホール</td> <td>64日</td> <td>11,840人</td> <td>1,182人</td> <td>16%</td> <td>20%</td> <td>18%</td> </tr> <tr> <td>小ホール</td> <td>294日</td> <td>8,808人</td> <td>0</td> <td>88%</td> <td>93%</td> <td>93%</td> </tr> <tr> <td>研修室(1)</td> <td>171日</td> <td>3,190人</td> <td>0</td> <td>50%</td> <td>54%</td> <td>60%</td> </tr> <tr> <td>研修室(2)</td> <td>143日</td> <td>1,441人</td> <td>0</td> <td>39%</td> <td>45%</td> <td>48%</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td>25,108人</td> <td>1,182人</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>大ホールの利用を促進するため、県内の音楽団体等にダイレクトメールを送っています。</p>						年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	事業数	5本	5本	5本	5本	5本	5本	年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	事業数	29,051	29,546	27,545	28,480	28,885	25,108	ホール名	使用日数	利用人数		稼働率			貸館	自主事業	28年度	27年度	26年度	大ホール	64日	11,840人	1,182人	16%	20%	18%	小ホール	294日	8,808人	0	88%	93%	93%	研修室(1)	171日	3,190人	0	50%	54%	60%	研修室(2)	143日	1,441人	0	39%	45%	48%	計		25,108人	1,182人			
年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度																																																																											
事業数	5本	5本	5本	5本	5本	5本																																																																											
年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度																																																																											
事業数	29,051	29,546	27,545	28,480	28,885	25,108																																																																											
ホール名	使用日数	利用人数		稼働率																																																																													
		貸館	自主事業	28年度	27年度	26年度																																																																											
大ホール	64日	11,840人	1,182人	16%	20%	18%																																																																											
小ホール	294日	8,808人	0	88%	93%	93%																																																																											
研修室(1)	171日	3,190人	0	50%	54%	60%																																																																											
研修室(2)	143日	1,441人	0	39%	45%	48%																																																																											
計		25,108人	1,182人																																																																														
点検・評価	<ul style="list-style-type: none"> ・「まほろばホール」の中心となるのが、豊かな音の響きを生む大ホールです。また、ゆったりとした客席空間のコンサートホールを活用して、気軽に楽しめる音楽コンサートを提供しました。今後、音楽をコンサート以外の切り口から親しめるよう、更なる事業展開の工夫を図っていきます。 ・会館利用では、小ホールが最も高い稼働率となっています。今後も利点を生かし高い稼働率を維持していきます。 ・施設の老朽化が進み、計画的な補修が必要となっています。 																																																																																

事業名	スポーツ振興事業	目標	スポーツを通じ住民相互の親睦と体力・健康増進を図る。
事業概要	<p>ニュースポーツをはじめ、各種スポーツ教室、軽スポーツ大会を開催することで、小学生から高齢者まで幅広く楽しく汗をかき、体力向上とスポーツ振興を図りました。</p>		
取組内容	<p>【ふれあいスポーツ教室】 町立体育館一部開放し、家族、親子、友人が自由にスポーツを楽しめる場と機会をつくりました。年間9回実施、延べ145名参加</p> <p>【健康づくり教室】</p> <p>①さわやかウォーキング教室を年間9回実施124名の参加があり、ハイキングコースを利用して、その土地の様子や季節感を味わいながら、歩く素晴らしさを体得しました。 二上山コース、談山神社・大宇陀コース、八幡市周辺コース、吉野神仙峡コース、南河内コース、御所市周辺コース、さわやか合同法隆寺コース</p> <p>②ストレッチヨガ教室(18歳以上、46名参加、) 年間5回実施、呼吸に合わせて優しいストレッチヨガで、体力の循環及び歪みを整え、自然治療を高めて健やかな日常生活を図る運動をしました</p> <p>③わんぱくスポーツ教室(小学生対象、テニス19名、バドミントン22名) 年間各5回実施、テニス、バドミンントンの基礎練習をしました。</p> <p>④子ども水泳教室(小学生対象、50名参加) 年間各5回実施、水に慣れるとともに基本的な水泳法をマスターし、健康と体力の維持増進を図りました。</p> <p>【総合型地域スポーツクラブ】 総合型地域スポーツクラブは、「いつでも、どこでも、だれでも」を合言葉に、子どもから高齢者まで、一人一人が様々なスポーツを身近に感じ、気軽に楽しむことができること目的とし、ジュニア体操クラブ、ランニングクリニック、子どもの為のボール遊びの3つの教室を開設しました。</p> <p>【第51回町民体育大会】 秋空のもと、子どもから高齢者まで約800人が参加し、スポーツに親しみ、住民相互の親睦を深めることができました。幼稚園の演技、河合一小のバトン&ダンスパフォーマンス、河合三小の金管バンド、河合二中のマーチングが披露され、本大会を一層盛り上げてくれました。また、優秀スポーツ選手の表彰を行い、賞賛しました。</p>		
点検・評価	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民のニーズに合った様々なスポーツライフを推進し、町民スポーツの振興(レベルアップ)のため、スポーツ推進委員やインストラクターが、社会人・小・中学生に幅広く指導することができました。 ・保健スポーツ課が中心となって、活発にスポーツ活動を展開し、地域住民のスポーツ活動に対する関心を高めることができました。 		

1 教育委員会について

今年度、文部科学省において、2030年以降の社会の変化を見据えた課題等に対応していくため、パブリックコメントも聞きながら「第3期教育振興基本計画」が策定されています。平成30年度から実施されますが、5つの柱の中に「夢と自信を持ち、可能性に挑戦するために必要となる力を育成する」「生涯学び、活躍できる環境を整える」があります。これは河合町が目指す教育でもあります。

教育委員会においては、各学校園の様々な課題等への対応や長期にわたり教育行政の改編等についても協議がなされ、町教育の充実・発展に努められています。

特に、学校規模の適正化においては、賛否両論で合意することが難しい大きな課題です。再編後のメリットをアピールし、デメリットの克服方法を明確にして、住民に納得を求められることが大切だと思います。

一方、中学校での不登校生徒の増加は喫緊の課題です。原因は個々さまざまに不明のことも多くあり、学校だけでは解決できないことが多々あります。今後、町教育委員会として、不登校生徒が心の居場所となる教室の設置も検討してください。また、スクールサポート制度を構築したり、学校訪問を年2回したり、学校評価に第三者評価を導入して、より専門的立場できめ細かい指導・支援を受けたりするなど、さらなる学校教育の発展につながる方策を検討し実践されることを期待します。

2 学校教育について

- ・ 認定子ども園の開園に向けた新しい組織づくりや研修に力を注ぎ、保育の充実を図ることに尽力されました。使命感を強く認識し、職員間の良好な人間関係形成や新たな体制づくりへの努力は、今後の幼児教育・保育の発展・充実につながります
- ・ スクールカウンセリング事業の拡大が有効に機能しています。ストレスを抱えて子育てに不安と苛立ちを募らせている保護者や、自尊感情の低い子どもが増えています。保護者や教員の心の安定と自信が、子どもたちにより影響を与えます。今後さらに、問題行動の未然防止や早期対応に生かされることを期待します。
- ・ 国際理解、英語教育の推進では、ネイティブな英語に出会う機会を多くすることが英語力向上につながります。ALTだけでなく、海外在住だった地域のボランティアを募るなどの工夫をして、英語に関心と意欲を高める子どもを育ててください。
- ・ 小学校におけるICT(タブレット)活用は、子どもたちの学習意欲・学力向上につながったと推察します。全ての教員が使いこなせる技能の習得と、中学校への導入も計画してください。
- ・ 安全で安心な環境づくりには経費が必要であり、努力の改善がうかがえます。さらに、家庭や地域、関係諸機関と連携し安全対策を続けられることを期待します。
- ・ 学校給食の運営と食育の推進については、栄養教諭を中心に学校給食を工夫することで、食育を推進しておられます。

- ・ 今後、子どもへのアンケート調査を行ったり、朝食摂取状況を調査したりするなど、食育推進の幅を広げてください。

3 生涯学習について

町民大学事業、図書館事業など、社会教育の振興は、地域住民の生きがいの高揚を図り、生涯学習を充実させる取組です。また、学校・地域連携事業や青少年の健全育成など、地域の教育力の向上及び町の活性化につながる取組として推進されています。町民大学では、受講者数が減少している講座が多くあり、予算の見直しも含めて改善を望みます。新成人主催の成人式が軌道にのり、出席率も上昇しています。今後、保護者からのメッセージを入れるなど、ここまで成長できたことへの感謝の気持ちを育んでください。

人権教育の推進は、町民全体が豊かな人権感覚を身に付ける取組であり、重要な人間教育です。その中で「識字学級」の受講は、過去数年1人が続いています。人数を増やして、一緒に学習するなかまができるような講座を検討してください。

学校・地域連携事業は、学校・保護者・地域住民の三者が協働して、健全な子どもたちの育成に成果のある取り組みが推進されています。今後、3つの小学校と2つの中学校の活動のバランスを図ってください。

社会教育の振興は、河合町全体の教育力活性化に大きな役割を担っています。図書館では新規の取組を増やし、活性化に努めておられます。図書館からの情報発信を工夫するとともに、小学校・幼稚園・保育所等と連携を強化し、子どもたちが本に親しむ機会をさらに多くつくってください。

文化財保存事業については、保護・維持管理と広く情報発信に努め、河合町の魅力が周知されるようになりました。特に、廣瀬神社の砂かけ祭りは全国的にも知られるようになり、特色ある郷土の歴史文化を愛し、継続できる河合の子どもたちに育ってくださることを期待します。

4 保健スポーツ

全国的に、子どもの体力向上や大人の健康増進のためのスポーツが盛んに行われています。河合町においても、スポーツ振興事業として、それぞれの年代や個々の目的に応じた教室が開催され、スポーツを楽しみながら体力と健康増進を図る場と機会が工夫されています。今後さらに、スポーツ教室、健康づくり教室、スポーツクラブの種目・内容等を工夫し、地域住民の関心を高めて参加者を増やしてください。

5 総括

「継続は力なり」しかし「前例に善例なし」を頭に置いて、河合町教育行政を推進してください。これまでも苦しい予算の中で創意工夫し、教育発展のために尽力してこられました。その河合町で育った子どもたちは、河合町に愛着を感じ社会で活躍しています。河合町教育振興計画重点施策に数値目標等を取り入れ、組織の全員が認識して取り組めるよう、各長はリーダーシップを発揮し、所員の意欲につながるようなマネジメントに努めてください。今後一層の学校・PTA・社会教育団体・行政機関・地域住民等の連携・協力関係の充実と町教育の発展を期待します。